

# 公安委員会定例会議(第4回)の開催状況

第1 日時 令和7年2月19日(水)

午後2時07分 ~ 午後3時48分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長  
刑事部長、交通部長、警察学校長、情報通信部長  
公安課長、総務課長

第3 議事の概要

## 1 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和7年第3回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

### (3) 令和7年度少年指導委員の委嘱

生活安全部から、令和7年度少年指導委員の委嘱について伺いがあり了承した。

### (4) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、21件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

## 2 報告事項

### (1) 令和6年中の警察相談取扱状況

総務室長から、令和6年中の警察相談取扱状況について報告があった。

委員から、「警察相談をきっかけに事件検挙に至った件は正に好事例である。こうした相談を見逃すことなく的確に対応し事件の掘り起こしに努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「警察相談の件数は増加傾向にあり、応対する職員は大変だと思うが、その中から事件性があるものをあぶり出す作業は重要である。警察相談によって事件化につながる事例もあるので、引き続き頑張ってください」との発言があった。

委員から、「年間3万件を超える警察相談の中から事件性があるものを把握するのは大変な作業だと思うが、緊急性のあるものを見逃さないようお願いしたい」との発言があった。

### (2) 公安4機関(警察・消防・自衛隊・海保)の女性職員による交流会の開催

警務部長から、公安4機関(警察・消防・自衛隊・海保)の女性職員による交流会の開催について報告があった。

委員から、「女性職員の活躍には、仮眠室やトイレ等の施設の整備とともにキャリアプランを示していくことが重要である。松山東署のような新しい庁舎は女性専用施設が整っているが、古い警察署や交番などでは女性専用施設が十分でないところもあるので、計画的に整備を進めていただきたい。他方、仕事と家庭の両立や昇任、異動等に不安を抱えている女性職員が多いと思うので、キャリアプランを具体的に教示するなど、細やかなサポートをお願いしたい」との発言があった。

委員から、「社会に貢献したいという共通の志を持った女性職員が集まり交流を持ったことは意義深い。内容も〇×形式を取り入れるなど、議論が盛り上がるような工夫がされており、いろいろな意見が出たと思う。今後もこうした取組を継続し、女性活躍の推進やワークライフバランスの実現に役立てていただきたい」との発言があった。

委員から、「私は県立高校校長を務めたが、女性のキャリアアップに関する課題は教育現場にもある。女性が活躍するとその組織全体の総力が上がり、そうした組織が増えると社会の総力も上がると思う。公安4機関の交流は非常に良い視点の取組であり、今後も長く続けていただきたい」との発言があった。

#### (3) 令和6年中における自動車警ら隊の活動状況

生活安全部長から、令和6年中における自動車警ら隊の活動状況について報告があった。

委員から、「令和6年能登半島地震では、愛媛県警察からも自動車警ら隊を始め多くの警察官が派遣された。やはり災害時に警察官の姿ほど頼りになるものはなく、自動車警ら隊の活動は、被災者に多くの安心を与えたことと思う。特に職務質問は犯罪の予防・検挙に多大な効果がある。危険な場面も想定されるが、必要に応じて応援を手配し複数対応するなど受傷事故防止に留意しながら頑張っていたいただきたい」との発言があった。

委員から、「職務質問は、対象者のちょっとした不審点を見逃さない熟練の職人技であり、そのスキルは素晴らしい。こうした姿に憧れて警察官になる人も多いと思うので、後世に職務質問の技術を伝承していけるように指導者の育成に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「警察官が職務質問する姿を見せることは、犯罪の検挙だけでなく抑止にもつながるため、積極的な職務質問を期待する一方、相手方に対する発言や態度には十分留意し、丁寧な対応をお願いしたい。今後も他県の自動車警ら隊と相互に交流し、隊員のスキルアップを図っていただきたい」との発言があった。

#### (4) 令和6年中における刑法犯認知・検挙状況

生活安全部長及び刑事部長から、令和6年中における刑法犯認知・検挙状況について報告があった。

委員から、「特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺被害は増加傾向にあるが、指示役は県内よりも首都圏に多いと思う。連合捜査班を効果的に活用し、全国警察一体となって強力に捜査を推進していただきたい」との発言があった。

委員から、「警察には刑法犯認知件数の多くを占める窃盗犯の検挙に

力を入れていただきたい。また、闇バイト対策として話題になっている仮想身分捜査にも注目している。新しい捜査手法によって匿名・流動型犯罪グループの実態解明や首魁の検挙はもとより、犯罪全体の抑止につながることを期待している」との発言があった。

委員から、「仮想身分捜査は攻めの捜査であり、犯罪の未然防止の観点からも効果が期待できる。県内においても匿名・流動型犯罪グループの関与がうかがわれる窃盗事件が発生したことに驚いているが、凶悪犯や粗暴犯の検挙率が向上している点は安心材料である。今後も検挙率の向上に努めていただきたい」との発言があった。

(5) 愛媛県中予地方局職員らによる官製談合防止法違反・公契約関係競売入札妨害事件の摘発

刑事部長から、愛媛県中予地方局職員らによる官製談合防止法違反・公契約関係競売入札妨害事件の摘発について報告があった。

委員から、「本事件については、余罪の可能性も視野に捜査を徹底し全容を解明いただきたい」との発言があった。

委員から、「本事件の背景や動機を含め徹底した捜査をお願いしたい」との発言があった。

委員から、「各マスコミが県職員の逮捕を大々的に報道しており、反響の大きさを実感している。公務員として恥ずかしい行為で、あってはならない事件である。余罪を含めて徹底した捜査を推進していただきたい」との発言があった。

(6) 人事案件

警務部から、人事案件について報告があった。

(7) 警察職員の任用

警務部から、警察職員の任用について報告があった。

3 その他

公安課長から、本年2月16日に開催された社会福祉法人「恩賜財団済生会」総会への秋篠宮殿下出席に伴う警衛警備について報告があった。

以上